

地域のボランティアスクール

ふれあい

横浜みどりの学校ひまわり

2019年3月号

こんな学校があってもいいかも

(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、8年前に開設されました。

ひまわりには、約30名以上の子供達が在籍、日々十数名の登校があります。ひまわりの利用目的は不登校による居場所確保と公立学校への不信です。来校の子供達の多くが人より過敏なこと、周囲の状況にうまく順応出来ない、こだわりが強い、書字、読字が苦手などの特徴(個性)を持っています。勿論、記憶力、優しさ、限られた領域での優れた能力も併せ持っています(私立超難関中学に合格した者など)。このような子供達、学年も家庭環境も異なる子供達がひまわり

の構成員です。

保護者の皆さんの優先順位はまず不登校の解消なのか、それとも個性的な我が子の社会性の構築なのでしょうか。

社会性の構築無しで万一再登校ができたとしても一時的な可能性が大きく、再度不登校になる可能性は高いと思います。では、社会性の構築を第一優先してはどうなのか。社会性の構築には非常に根気と時間を有します。私は、それでもひまわりという小さな集団の中での日々の活動が、テレビゲ

ームについて賛否がある中、とても有効な方法だと信じております。

結

局のところ不登校を解消するのは、焦らず気長に社会性の構築をしていくことが最良な方法だと思います。明日もまたゲームに熱中する子供達を背後から見守ることになると思います。これが学者には程遠い、経験と勘のみが頼りの自称職人校長の手法です。

(渡辺校長メーリングストより)



ひまわりニュース



ひまわりのイケメン、ウコッケイのシュントくんの小屋に窓ができました！
ひまわり保護者役員で農務担当のKさんが発案、ボランティアのMさんが制作してくださいました。繊細で食が細いシュントくん。窓ができた後、シュントくんはどう変わる？この先は、ぜひご自身の目でお確かめください。



今後の予定

- 3月10日 キャンドルナイト
- 3月11日 ハンドクラフト・イラスト大会
- 3月13日 ひまわりヨガ(ケアプラ)
- 3月17日 サンデーフリマ
- 3月22日 卒業・進級を祝う会
- 3月27日 ひまわりヨガ(ケアプラ)
- 4月はお花見・たけの子掘りを計画しております

ボランティア募集

内容:学習指導・子どもとのふれあい
日時:月・水・金・土の11時~4時
(曜日・時間帯は自由にお選びください。)
すべて無報酬のボランティアです。
苦戦する子供達のため、悩んでいる保護者のためにお力をお貸し下さい。
臨床心理士も募集中です。